

# 利賀っ子だより



R4. 11. 18

## ○ 喜んでもらえるように

中学年は、総合的な学習の時間の「おじいさんおばあさんと交流しよう」という学習の一環で村内の高齢者福祉センターを訪問する予定です。

話し合い活動では、自分たちが訪問することで「喜んでほしい」、「楽しんでほしい」という思いをそれぞれが話していました。それをどのような活動で表すのか、自分の知っているおじいさんおばあさんを思い浮かべながら意見を述べているようでした。実際に訪問し、高齢者の方々との交流を通して、どんなことを学んでくるのか楽しみにしています。

朝の時間や休み時間にプレゼントを作ったり、ゲームの準備をしたりする姿がありました。なんとか交流会を成功させたいという思いが伝わりました。



【これで数は足りるかな】



【この色は喜ばれると思う？】



## ○ お楽しみ

【わぁ すごいね】



「校長先生、おもしろいのができたから見に来てください。」と2年生から声がかかりました。

低学年が生活科の学習でおもちゃやゴムの力で動くおもちゃづくりをしています。満足いくおもちゃができたので見てほしいとのことでした。自分の工夫したところを説明しながら、遊んで見せていました。そばにいた1年生は、「ぼくたちは、まだ(2年生のおもちゃで遊ぶのは)お楽しみなんです。」「早く遊びたいけど、お楽しみは取っておく。」と言いながら見せていました。

低学年の子供たちも中学年の子供たちも、自分たちの活動の目的を意識し、見通しをもっていることで、安心したり、夢中になったりした活動になっていると思いました。

(高田 公美)